## 授業でできる地形・地層の実験

目代 邦康1)・池田 宏2)

## 1. はじめに

2007年7月26日に、「水路を用いた地形・地層の実 験 | を行いました。 地形・地層の実験は、 人間が通 常、目にすることのできない時空間的に長大な現象 を観察することができます。実験を見れば、地層、 地形というものが静的なものではなく、動的なもの としてイメージできるようになります. そして, 実 験を取り入れた授業は、子供たちにとっては、現象 の観察とそれに基づいた理解が要求されるため、科 学的な思考力、判断力の養成の場となります。こ のような「自ら考える|実験を授業で取り入れても らいたいという願いを込めて、このプログラムを企 画しました。当日は、2005年まで筑波大学で地形学 の研究を行ってきた池田が、これまでの経験を生か して, 実験を立案する際の考え方, 実験装置作成の コツ、それをどのように教材化していくかについて、実 演を交えながら講義しました。最近考案した小型の 実験装置を自宅から地質標本館前の庭に持ち込み、 参加者と一緒に実験を行いました。参加者は、池田 のほか、地質標本館スタッフ2名、教員2名、教育委 員会担当者1名でした。

## 2. 実験の内容と装置

行った実験は、様々な地形の形成過程が観察できるものでした。

- a) ミーマ塚の実験:プラスチックトレーに砂を敷きつめそのトレーを下からたたくと,平面的に篩い分けが起こり,小山ができます.これは,直下型地震でできたと考えられているアメリカのミーマ塚のモデルになります.
- b) 崩壊の実験: 異なる素材を箱に詰め、それを回転させると、あるところで斜面が崩れます。 その崩れ方を観察し、それによってできる角度を計測すると、斜面の崩れ方と角度の関係が分かります(写真1).



写真1 崩壊の実験



写真2 土石流の実験.

<sup>1)</sup> 産総研 地質標本館

<sup>2)</sup> 元筑波大学



写真3 平面水槽実験.

- c) 土石流の実験:斜面上にある物質は,乾燥しているか,水を含んでいるかによって,その流動の様式が異なります。固定した水路の上に,砂などを置き,それに水を含ませながら,その移動の仕方を観察しました(写真2).
- d) 平野の地層の堆積実験: 平面水路を用いると, 平野での段丘地形の形成の過程が観察できます. 下流端に堰を設け, 海水準変動を再現しました(写真3).
- e) 河床形の実験:水路を使い, 勾配と流量をコントロールすることによって, 河床形状が変化し, それに伴って堆積構造も変化します(写真4).
- f) 海岸地形の実験:海岸には、岩盤からなる海岸、 礫からなる海岸、砂からなる海岸などがあります。そ れらがどのような地形変化をするのか実験でみました。

いずれの実験装置も手作りで、その材料はホーム センターなどで容易に入手できるものです。特別な装 置を使うことなく実験を行う方法を考えていくことは、 授業の中に実験を取り込んでいくために必要なこと であると考えます。

## 3. 今後の課題

目代は、しばしば、地質標本館に来館した小学生に対して、小型水路を用いて川の地層の堆積のしかたを実験で見せています。実験をすると、子供たちは釘付けになり、私の問いかけに対して、いろいろな発言するようになります。実験は、子供たちの好奇心



写真4 河床形の実験.

を強く刺激し、「自分の目で見て考える」という感覚を 呼び起こします.しかし.現状では多くの学校で.地 形や地層に関する実験はほとんど行われていないよ うです。研究者は、地形・地層の実験は教育効果が 高いということを示していかなければならないでしょ う. それと同時に. 教員は. 日頃から自然をよく観察 し、それを実験にどう取り込むか考えていく必要があ るでしょう。注意しなければならないのは、実験の設 計をする際に、どのような現象を見せたいのか十分 吟味する必要があるということです。自然は、様々 な要素が複雑に関係しあっています。実験は、その 中のある側面を強調して見せることになるため、実験 の設計者が、その現象に対して本質的に理解してい ないと、見せたいものとは異なる現象を見せてしまう ことになりかねません、気を付けなければならない点 はありますが、実際に取り組んでみて、失敗や成功を 繰り返していくなかで、ノウハウの蓄積がされていく ので、今回の研修をきっかけにして、教員の方には実 験を授業の中に取り込んでもらいたいと考えていま す.

教員の方は、今回の研修を通して、知識だけでな く人的なつながりもできたと思いますので、それを生 かして今後の教育内容の向上を図っていただきたい と思います。

MOKUDAI Kuniyasu and IKEDA Hiroshi (2008): Some experiments of earth surface processes for science education.

<受付:2008年1月15日>